

様式第4号（第12条関係）

事業者行動報告書

2023年 7月 28日

(宛先)

滋賀県知事 三日月 大造 様

提出者

住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）
京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地

氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）
京セラ株式会社 代表取締役社長 谷本 秀夫
（代理人） 滋賀蒲生工場長 水嶋 和仁

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 第21条第1項
~~第22条第2項において準用する同条例第21条第1項~~の規定に基づき、事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）	京セラ株式会社 代表取締役社長 谷本 秀夫
事業者の住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）	京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町 6 番地

1 事業所の概要

事業所の名称	京セラ株式会社 滋賀蒲生工場					
事業所の所在地	滋賀県東近江市川合町 10-1					
主たる事業	細分類番号	2	8	9	9	その他の電子部品・デバイス・電子回路製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間 3,000 トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画期間および報告対象年度

計画期間	2020年度 ～ 2022年度
報告対象年度	2022年度(2022年4月～2023年3月)

3 計画の実施状況

計画の実施状況	別添のとおり
---------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第2号

(第1面)

1 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況等

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の実施状況

	取組項目	取組の内容	取組の実施状況
1	プロセス改善対策	工業炉の燃料削減	① 現在の運転に併せた空気比の最適化 ② 補助設備の稼働条件の見直し 他設備への展開を検討
2	プロセス改善対策	工業炉の生産計画調整による運転時間削減	生産数量に合わせた炉の集約、運転調整
3	設備導入・運用対策	設備更新に伴う高効率・高生産性機種を導入	更新に合わせ順次実行 高効率空調機導入
4	設備導入・運用対策	直管LED照明への更新、過剰照明の消灯	対策実施、継続中 (2024年度完了予定)
5	設備導入対策	モーター・トランス等の高効率機器の採用を推進	新規設備導入・更新に合わせ順次実行
6	設備導入対策	電気使用機器の設定見直しによる電動機の負荷低減	冷却水ポンプのINV周波数調整(季節毎)等

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況

	温室効果ガスの種類	取組の内容	取組の実施状況
1		特にありません	
2			

(3) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

年平均1%以上のエネルギー原単位の削減を図ることとし、2019年度 エネルギー原単位を基準として、2022年度までに3%以上の削減を図ることとする。

エネルギー原単位の考え方は下記式のとおりです。

エネルギー原単位 = 原油換算エネルギー使用量 (kL) / 総生産金額 (百万円)

【2022年度実績】

2019年度エネルギー原単位 16,003 (kL) / 33,480 (百万円) = 0.478

2022年度エネルギー原単位 16,578 (kL) / 36,092 (百万円) = 0.459 19年比 4%減

エネルギー使用量は微増でしたが、生産が大きく伸び2022年度は2019年度に比べエネルギー原単位で約4%の減少と、3か年目標の3%削減を達成しました。(1)の一覧表の1,2の焼成炉の条件の調整、焼成品の集約などの施策が大きな効果となりました。

(第2面)

2 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組の実施状況等

(1) 取組の実施状況

取組の内容	取組の実施状況
<p>「LED 照明の生産を通じた低炭素社会づくりへの貢献」</p> <p>京セラ(株)滋賀蒲生工場では、LED 照明を生産しています。オフィスや会議室など、様々な場所で使用できる明るさで、天井面にスリムに収まるシンプルなデザインです。蛍光灯と比べて消費電力量が少なく、約 4 万時間の期待寿命を実現しております。</p> <p>本計画期間においても、LED 照明の生産を通じて、低炭素社会づくりを推進して参ります。</p>	<p>2022年度のLED照明の生産により、2,9585t-CO2の二酸化炭素排出削減に貢献することができました。</p>

(2) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

<p>目標：</p> <p>当工場で生産している LED 照明のうち、計画期間（2020 年度～2022 年度）における主力製品（直管 LED ランプ）の生産を通じて、約 4 万 t-CO2 の二酸化炭素排出削減に貢献する。</p> <p>自己評価：</p> <p>2020年度のLED照明の生産により、23,547 t-CO2</p> <p>2021年度 6,795 t-CO2</p> <p>2022年度 2,899 t-CO2</p> <p>3年間で計 33,241 t-CO2の二酸化炭素排出削減に貢献することができましたが、目標の4万t-CO2には届きませんでした。</p> <p>2022年度も引き続きコロナウィルスの影響が大きく、世界的な半導体不足は継続し、コロナ前まで回復しませんでした。結果としてLEDランプの製造も大幅な減産となりました。</p>

(第3面)

3 その他の低炭素社会づくりに向けた取組の実施状況等

	取組項目	取組の内容および 当該取組により達成しようとする目標	取組の実施状況等
1	環境出前授業の 実施	近隣小学校への環境出前授業の継続実施	コロナウィルス感染防 止のため22年度は 募集停止
2	工場環境施設 見学の受け入れ	工場環境施設見学の受け入れを継続実施	コロナウィルス感染防 止のため22年度は 募集停止
3	廃棄物輸送に伴 うCO2削減	産業廃棄物排出量の削減対策継続	汚泥乾燥促進による 排出量(重量)の削減
4	ピーク電力削減	夏場の室外機、チラーへの散水による空 調関係電力削減、ピーク時停止可能設備 停止による電力削減	継続実施
5	ピーク電力削減	ゴーヤを用いた工場内でのグリーンカー テンの実施	ゴーヤを用いた グリーンカーテン設置 (12m×3m)
6			
7			
8			